

社会福祉法人新潟しなの福祉会
地域生活支援センター「ゆとりあ」

〒950-0083

新潟市中央区蒲原町7-1 東地区総合庁舎2F

TEL 025(240)8000 FAX 025(240)8111

相談専用 TEL 025(248)7170

E-Mail : yutoria@sweet.ocn.ne.jp

URL: <http://www16.ocn.ne.jp/furatto5/>

ゆとりあ



～ 6月 ゆとりあ予定 ～

新潟しなの福祉会後援会のつどい
13日(土) 新潟市万代市民会館

詳しくは裏面、またはチラシをご覧ください。

～ 休館日のお知らせ ～

13日は後援会のため、休館となります。



開所式のご報告!



5月1日(金)地域生活支援センター「ゆとりあ」の開所式を当施設が所在する東地区総合庁舎の4階東地区公民館大ホールにて開催させていただきました。

当日は新潟市の関係者をはじめ、地域の方々を来賓に迎え、施設関係者や「ゆとりあ」の利用者とスタッフ50名近くの人に列席を賜りました。

式典は、土橋理事長の式辞、「ゆとりあ」開設までの経過報告に続き、篠田昭市長、青木学市会議員、新潟市こころの健康センター福島昇所長の祝辞を頂き、「ゆとりあ」オープンより利用されているメンバーのお祝いの言葉で閉じさせて頂きました。

式典の間、地域活動支援センター事業申請から開所式まで作業に忙殺された日々が走馬灯のように浮かんで消えました。後半は「ゆとりあ」の活動室で茶話会を囲みました。

坂井 省英

一開所式茶話会一

たくさんの方が集まったゆとりあでの茶話会は、コーヒーや事業所近くのお菓子屋さん特製の米粉ドーナツを出し、味の種類も多く皆様にも大好評でした!(*^^*)



「ゆとりあ」の名称は一般公募させていただきましたが、名古屋の小寺さんからメッセージを頂いておりますので紹介いたします。

「ゆとりあ」に至るまで

『みなさんこんにちは。愛知県名古屋市の小寺と申します。地域生活支援センター「ゆとりあ」のオープンを心からお祝い申し上げます。

今回、インターネットで募集を知りましたが、名称に採用されまして感激しております。

「ゆとりあ」は、ゆとりある生活と地域に密着した福祉サービスの利用を情報提供する中核センターとして、仲間たちとご家族の夢と希望が大きく広がるようにという願いを込めて命名させて頂きました。

「ゆとりあ」がみんなに親しまれ、愛の心と未来への夢を育む拠点となるとともに、新潟市の福祉の発展、市民の幸せづくりに大きく貢献されますことをご祈念いたします。ありがとうございました。』

登録開始のお知らせ!

5月1日から「ゆとりあ」での会員登録を開始しました!登録をする際にはハンコが必要となりますので、登録を考えている方は忘れずにお持ちください。

登録するかしないか迷っている方、どんなところで興味のある方は是非「ゆとりあ」を見に来てください。見学も大歓迎です!気になった方は「ゆとりあ」へ!

テレビがきた!! ~ゆとりあ最新情報~

ゆとりあに新しくテレビがやってきました!ゆとりあ自慢の赤いふかふかソファの前に設置し、これで甲子園やスポーツ中継も楽しめます!

今後もゆとりあがより良い環境になるべく邁進していきますので、なにかありましたらスタッフまでお声かけください。



後援会のつどいのご案内

第7回新潟しなの福祉会後援会のつどいが、6月13日開催されます。

今回は、第一部では、「地域サロンを活用した介護予防を考える」と題して新潟医療福祉大学・大学院 理学療法学科の小林量作教授より講演をいただきます。

第二部では、みんなで楽しむ音楽会としてメンバーの皆さんによる演奏や歌とピアノのミニコンサートです。

ソプラノ小山留美子さん(洗足学園音楽大学・大学院卒)、ピアノ斎藤晴海さん(国立音楽大学卒)の演奏で音楽と親しんでいただけたらと思います。

日時 6月13日(土)
場所 新潟市万代市民会館
多目的ホール(6階)
電話 025-246-7711



梅雨の季節とは思いますが、有意義で楽しい時間をすごしましょう。多くの方々の参加をお待ちしております。



★主のフィルム



渡浩逝く

渡浩さんこと、渡辺浩一さんが5月6日に急逝されました。渡浩さんは、新潟市内を車椅子で自走しながら商品を販売するという稀有なスタイルで行商を行っておられました。

彼との出会いは、10年前、帰りの道を急ぐ車いすの不思議な通行人でした。行商していることすら知りませんでした。帰り道、トイレ休憩で喫茶「あどばんす」を使われていました。喫茶の男性トイレは、大変利用し辛いものでした。それを見かねた同僚スタッフが「ふらっと」の車いすトイレを進めたのがきっかけでした。

彼は、春3月から11月ごろまでの間、平日は、天候にかかわらず車いすで行商に歩き回っていました。走っていたかな？夕方になると車いすが「ふらっと」の玄関をくぐり、部屋の片隅に陣取り、暖を摂り、仲間と将棋を指し、相撲を観戦していました。まさに「ふらっと」の無くてはならない風景のひとつでした。お酒が好きで、月一、仲間と飲みに行くことを楽しみにしていました。時々、「ふらっと」の延長開館(隔月の月末土曜日、アルコール持ち込み可)に楽しく参加してもおられました。

彼のトイレのお手伝いには、スタッフが入るのですが、彼自身が私たちを上手に指示してくれました。それは、まさにかゆいところに手の届くそんなうまい誘導の仕方に感服していた。スタッフに不安も持たせず的確な指示を頂けます。粗忽な私は、彼のお尻をよく便器にぶつけました。浩一さんごめんなさい。天国で仕方ないと言ってくれているかな。貴方からはたくさんのことを教えていただき、感謝です。天国で仕方ない

渡浩さん、彼岸では美味しい般若湯を口にされておられますか？合掌



はじめまして♪

この機関誌を読んでいただいている皆さまには、「はじめまして♪」とご挨拶すべき方が多いのではないかと思います。地域生活支援センターゆとりあの渡邊です。

これまで、私も機関誌のこのコーナーをいつも楽しく読んでいたのですが、まさか私自身がこちらに書くことになるとは思っていませんでしたので、この状況にとっても驚いています。どんなことを書いたら良いのか…考えながらも、不安と緊張でいっぱいです。

さて、今月の機関誌はいかがでしたでしょうか？実はこの機関誌、表は「ふら〜っと」と「ゆとりあん」で別々の内容になっていますが、裏面は同じ内容となっています。それぞれに特徴のある機関誌になっていると思います。皆さんに楽しんでいただける機関誌になるように、担当のスタッフが毎月あれこれ考えながら作っています。これからももっともっと楽しい機関誌になるようにがんばりますので、皆さんのちょっとした発見や面白情報などありましたら、是非スタッフまで教えてください。

次回からは、もう少し気の利いたことがかけるように修行しますので、長い目で見守っててください。

これからも、地域生活支援センターふらっとと地域生活支援センターゆとりあをよろしく願いいたします。 渡邊

